

# 豊高だより



平成30年12月25日発行 通算48号  
埼玉県立豊岡高等学校

(題字は本校 櫻田 晴子 教諭)

## 巻頭言

校長 鈴木雅士

### 一 はじめに

平成最後の年越しを迎えようとしています。正月への高揚感もちつつも、不安と戦いながら頑張る受験生をしっかりと支えていかねば、と熱気を帯びる自習室にて思います。時代の変わり目なのか、やはり気候も変で、昨年は十一月に雪が降っていたのに今年はまだ寒くないなど感じられます。経済状況にも変化が起こるかもしれません。

### 二 二学期を振り返って

猛暑酷暑の中、始まりは9月初めの文化祭でした。一学期から綿密な準備もあり、当日は、取り組みの成果が十分に発揮されたものになりました。開門待ちをする来場者が多いことから、その盛況さがかげえまます。とくに、各クラス等の発表の賑わいととも、文化部の質



の高い成果やもてなしに、地域の方々から多くの賞賛をいただきました。ここまで多くの労を尽くしてきた生徒の皆さんを讃えたいと思います。

この豊高祭が終わると校内の雰囲気

気ががらりと変わり、3年次生の進路決定に向けての取り組みが本格化し、矢継ぎ早に進路行事を迎えていきます。一時期朝テストがなくなり、進路に係わる連絡や情報提供がなされます。一学期から積み上げてきた進路研究を踏まえ、AO入試や推薦入試に挑戦していきます。模試や学校見学、進学講習や面接練習など、一人一人に合わせた計画的に受験対策に臨みます。自習コーナーで根気よく学習する姿は、目標を定め、ぶれずに突き進むたくましさが見られます。部活動で鍛えた精神力や集中力が大いに発揮されるときともいえるでしょう。すでに推薦等で進路決定している人も出て来ていますが、多くの人が、年明けの一般入試へまだまだフル回転で駆け抜けることになっています。

また、2年次生では、十一月に3泊の沖縄修学旅行がありました。今年、羽田空港に朝七時一〇分集合で大変心配されるところでしたが、全員が見事に揃って出発でき、平和学習やマリン体験、民家泊による文化体験学習など、大変実り多きものとなり、よい思い出となる旅行になったと思います。やはりこれも、実施までの万全の準備を怠りなくしてきた成果でしょう。

### 三 新共通テストの動向

現1年次生以降が対象となる新

大学入試センター試験について、2回目のプレテストが8万人の規模で行われました。今のところ数学の記述式は易しくなったとか、国語の記述式では文学作品は扱わないとか、マーク問題でも 思考・判断・表現力」が問われる内容になっていると言われていますが、英語については不透明なところがまだまだあります。活きて使える英語力」育成のために導入されることになった民間の英語資格、検定試験の活用については、資格・検定試験の概要が示されただけで、受検の機会や受検料等の格差問題、検査そのものが公平公正に実施できるかということを含め、未だ疑問を抱えたまま見切り発車をしたような状態です。また一方で、この民間の資格・検定結果を各大学がどのように活用するかということも定まっています。最近、国立大学では、一定水準以上の結果を出願資格とする、または英語試験の得点に加点するとの方向性を示していますが、個々の大学での取り扱いはまだまちまちです。この新しい大学入試制度による受験生のためにも、一刻も早い情報の公開が待たれているところです。

### 四 終わりに

お知らせです。年明けになると、いよいよ空調設備入替の大規模工事が3号館から順次行われていきます。さらに外では、大型駐輪場の

第二期工事に向けての準備も始まります。いずれも大きな工事ではありませんが、現況の状態によつて準備に時間がかかることもあります。工事の進捗状況に合わせて、学校生活に影響が出てきますので、皆で協力して乗り切っていきましょう。

### 各年次より

#### 『豊高カーブを破る』

一年次主任 天海雅充

十一月五日実施の進研模試の返却会が十一月一九日に行われ、進路・国数英の各先生から模試結果の分析、次回の模試へ向けての勉強法等の話がありました。進路指導部の山田美和先生からは、「(1) 9月のスタサポ結果から一年次生の学習時間が平日・休日共に不足しているため、学習時間をしっかり確保すること。」「(2) 前回と今回の三教科偏差値を比較し、全く同じ偏差値になり、6期生は豊高カーブを破って頑張っていること(豊高カーブ・三年三回「七月・十一月・一月」の模試で、過去の先輩方は二回目の模試偏差値がダウンし、三回目一回目の偏差値に戻る傾向が強かったことを指す)。」「(3) 年次全体の国数英偏差値が同じでも、アップした人が一六七名、ダウンした人が一五五名になった」こと等の分析が

ありました。

国語科の樫又先生からは、「(1) 記述模試は、記述することが肝心で時間配分も重要であること。」「(2) 国語力を上げるためには「授業を大切にすること」「国語が苦手な人は朝テストで漢字満点が取れるよう頑張ること」「書く習慣をつけること」「等のアドバイスがありました。数学科の平川先生からは、朝テスト・定期考査の勉強で得点できる問題は多く、学校の学習のみで取れる得点は四〇点になり、四〇点の生徒の偏差値は五六・五になるといふ分析がありました。実際、偏差値三〇台の生徒が前回七五名から二八名に激減しました。英語科の笹本先生からは、模試結果からわかる弱点について、「(1) 長文読解で、語彙力(単語+熟語)をつけることが重要であり、そのためには教科書・問題集の単語は必ず覚え、そして、模試の復習をしっかりとやること。」「(2) 英作文で、とにかく答案を書いて部分点を狙い、S+Vで答えることが重要である」こと等のアドバイスがありました。

また、各先生共通のアドバイスとして「(1) 1月模試に向けて全員配布の過去問を解くこ

と。」「(2) 各教科の課題にしっかりと取り組むこと。」「(3) 二学期までの学習内容を復習する」こと等もありました。各先生からの分析やアドバイスをいただいた大変有意義な返却会になりました。今回の返却会でのアドバイスを活かし、1月模試に向けて計画的に勉強に取り組み、好結果を出してくれることを期待しています。

#### 『勉強モードに切り替えを』

二年次主任 山田龍彦

保護者の皆様のご理解・ご協力です。無事修学旅行を終えることができました。社交辞令でなく、旅行初日に全員が遅刻することなく、羽田空港7時10分に集合できたのも保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

沖縄では天気に恵まれ、盛り沢山の行程も予定通り実施できました。生徒の書いた感想の多くが「普段できない体験ができて良かった」というものでした。

マリン体験・首里城・美ら海水族館・民泊(サーターアンダギー作り、三線体験、星空観察、ハブとのふれあい等々)といった楽しい体験だけではありません。

初日の平和教育コースでは、ガマ見学という貴重な体験をしました。ガ

マは自然洞窟で、戦時中は住民の避難場所や野戦病院として使われまし



た。生徒だけでなく私も戦争を知らない世代ですが、もつとも想像力をかきたてる場所だったに違いありません。

民泊の感想で、みんなスマホもいじらず有意義な時間を過ごしました」というものがありました。旅行が終わった今、勉強が彼らにとつて有意義な時間になります。

2年次では生徒を勉強モードに変えるべく11月30日に集会を開きました。3年次になる前に学んできたこと・冬休みにやるべきことを各教科から説明しました。本校では『手帳』を活用し、計画を立て勉強を行い振り返りをさせています。お子様に声をかけてご覧ください。

12月19日には進研模試の返却会を行いました。こちらの結果も是非ご覧下さい。現段階では模試の結果が悪くても悲観することはありません。勉強はすぐ結果がでるものではないのです。

何事も苦しさの先に楽しい事があると信じるしかありません。私も修学旅行前日に、浜松町のカプセルホテルの潜水艦のような密閉感(と乗組員のいびき)に苦しんだだけに翌日のロワジールホテル那覇の部屋がスイートルームに感じられました。

### 『高校生活の総仕上げ』

三年次主任 井口正則

二学期が、そして二〇一八年が終わろうとしている。一学期は殆どの者に進路の行方を大きく左右する学期という自覚があったようだ。ところが二学期になって進路の目的がついたり、一般受験に向けていよいよ本腰を入れて受験勉強に取り組む生徒が増えたりするにつれて、欠席や遅刻が増え、授業や学校生活への取り組みに乱れが見られるようになってきた。特に進路の目的がついた者の中には、もう卒業したような気分の方もいるのではないか。

三学期の登校日数は十六日。そのうち授業があるのは八日、調査が四日、あとは始業式と、卒業式関係の三日だけ。この十六日間を大切にしなければならぬのは勿論だが、これは高校生活の残りが十六日、



という意味ではない。

一般入試を控えている者は、受験が終わるまで一分一秒と疎かにできないだろう。一般受験生に勧めたいのは、今こそ苦手科目に歯を食いしばって取り組むことだ。好きな科目・得意な科目に向かう方が楽だし安心できるのだから、伸びしろは苦手科目にこそある。そしてこれからの人生の中で、苦手なことや嫌いなことに向き合わなければならぬ場面は、必ず何度もやってくる。逃げずに立ち向かう自分を作る絶好の機会だと、前向きに捉えてほしい。

一方既に進路の目的がついている者は、高校生活最後の長期休業をどう楽しく過ごすか、などと考えを巡らせているのだろうか。推薦合格者の中には、本校入学の時点からそれを目標に地道に努力を重ねてきた者もあるだろう。それが評価されることは当然だが、そういう者であっても一般入学生に対しては「ハンディ」がある、と評価されているのが現実である。まして早く決められるから、とか学力に自信がないから、といった理由でAOや推薦を志願して合格した者がいるとすれば、入学後にそれを後悔するという事態に陥る危険性がある。専門学校進学者や就職者にしても、内定の時点で高校生活が終わったわけではない。四月を迎えるまでに取り組む

べきことは、それぞれに必ずあるはずである。

入学時に私が「高校生活とは大人になるための準備期間である」と言ったことを覚えていてだろうか。準備期間の残りは、あと三か月。しっかりと準備して巣立つて行ってほしいと思う。

### 教務部より

#### 『すき間時間を活用しよう』

教務主任 橋本 浩

2学期が終わろうとしています。一年次生は高校生活にも慣れ、生活のペースがつかめたのではないかと思います。二年次生は高校生活最大のイベントである修学旅行があり、良い思い出をたくさん作れたのではないかと思います。そして、三年次生は進路実現に向けて進路中心の生活で、三年間で最も大切な時期だったと思います。一般受験の人は、追い込みで入試本番に向けて、

寸暇を惜しんで勉強していると思います。真剣に取り組む皆さんの凛とした表情を見ると、こちらも心がうたれます。一生懸命が「カッコイイ」と言える高校生活を送ってほしいと思います。

終業式には二学期の成績が皆さんの手元に来ますが、二学期の成

績だけ見て一喜一憂しないで、もっと長いスパンで考えて欲しいと思います。その場だけで喜びや悔しさを忘れてしまうのではなく、一年間というスパンで考えてください。一年間の結果は一学期、二学期、三学期の合計として三月に出ます。二学期の成績が思わしくなかった人は、三学期に取り返すよう頑張ってください。良かった人は、さらに上を目指して欲しいと思います。三年間の結果は進路実現という形で出てくるのです。

さて、話は変わりますが、本校には授業に臨むことに対して、授業三ヶ条があります。教室には授業三ヶ条が貼つてあると思いますが、みなさんの心の中にどれだけ定着しているでしょうか。確かに、チャイム前には席に着き授業の準備は出来ているように思えますが、そこから

#### 授業三ヶ条

##### 五分前行動

五分前には移動完了  
教科書類の準備完了  
スマホはしまい授業の予習

##### 手帳の活用

常に手帳を準備する  
メモを取る習慣を身につける  
計画や振り返りに活用する

##### 予習復習

予習復習をして授業に臨む  
解らないことは質問する  
繰り返すことで理解を深める

前行動「手帳の活用」「予習復習」

もう一歩進めてもらいたいのです。  
「授業三ヶ条」は、  
「五分

が三本の柱である。そして、三本の柱に意味を持たせました。五分前行動」とは、五分前に移動を完了し、教科書類の準備をおこなない、授業の予習をする。この五分だけでも授業の理解度は相当違うはずで

す。手帳の活用」とは、今未来手帳を常に手元に置き、メモを取る習慣を身につけ、勉強の計画やテストの振り返りに活用する。予習復習」とは、勉強を授業だけで終わりにせず、予習復習をして授業に臨み、解らないことをそのままにしない、理解をはかるという思いが、授業三ヶ条」にはあります。是非、みなさんには家庭学習、自学自習の時間を設けてもらい、その上で授業に臨んでもらいたいと思います。

しかし、みなさんの中には放課後と休日は部活動が入っていて、まったく勉強の時間が取れないという人が多いかもしれません。そういう人は、自分の一日の時間の使い方を見直してください。予き間時間」というのが以外とあるものです。例えば通学の電車やバスの中、何となくスマホやテレビを見ている時間など、また頑張って朝三十分早く起きるなど、上手く工夫すれば時間は捻出できるはずです。その時間を勉強に当てて欲しいのです。誰も一日

二十四時間、一年三六五日です。日々の細かい積み重ねが、やがては大きな差となります。是非、時間の使い方を見直して、予き間時間」を見つけて活用してください。

**保健室より**

**『2学期を終えて』**

養護教諭 竹永恵美

荒井ゆかり

**◎冬の感染症について**

寒さが厳しくなると心配なのが、インフルエンザとウイルス性胃腸炎です。下痢・嘔吐等の症状がある場合には必ず医療機関を受診してください。また体調不良を感じたら、家庭で体温を測り、発熱している場合には無理して登校せず、医療機関を受診してください。家族間や学校内での感染拡大防止のためにも手洗い・うがいとマスクの着用をしっかりしましょう。インフルエンザ等の感染症は出席停止になるので、担任から感染症による出席停止届を受け取り学校へ提出してください。

**◎健康診断治療票について**

1学期に各健康診断を実施し、治療が必要な場合には治療票を配布しました。もう治療はすみましたか。まだ治療が終わっていない人は、冬休みを利用して必ず受診しましょう。特に3年生は高校生活最後の定期健康診断の結果です。治療後は治療票を提出してください。

して必ず受診しましょう。特に3年生は高校生活最後の定期健康診断の結果です。治療後は治療票を提出してください。

**◎2学期を終えて**

記録的な猛暑で始まった2学期も冬を迎えました。2学期の保健室来室者数は、9月1日～12月14日までの集計で来室者576人でした。

保健室来室者に体調不良の原因を聞いていくと睡眠時間が短い生徒が多いように感じます。睡眠不足になると①免疫力や記憶力の低下②肥満③精神状態が不安定になるなど精神的にも身体的にも影響が出てきます。良い睡眠のためには、①寝る1時間から2時間前にはスマートフォンやパソコン等を使用しない②食事はなるべく寝る3時間前にする③起きる時間を一定にする④冬休みを迎え生活リズムが乱れやすくなります。冬休み中も規則正しい生活を心がけて体調管理に努めましょう。

◎日本スポーツ振興センターに  
学校管理下だけが等をして病院を受診した人でまだ申請をし

ていない人は保健室に来てください。申請できる期間は2年間です。忘れずに申請してください。

		9月		10月		11月		12月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	14	8	10	9	6	3	4	9	63
	女子	20	14	13	6	7	5	4	6	75
2年	男子	24	10	25	13	16	8	6	6	108
	女子	19	2	24	7	12	10	5	5	84
3年	男子	32	4	34	12	44	9	6	14	155
	女子	25	4	28	1	17	9	4	3	91
計		134	42	134	48	102	44	29	43	576

H30年度 2学期保健室来室状況 (H30.9/1~12/14)